様式２

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	風の森
住　所	熊本県合志市御代志１６００番１３
電話番号	096-242-7777

事業所番号	4312900410
管理者名	前田　公朗
対象年度	令和６年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

活動場所　　合志市近郊の畑

実施日程　　令和6年10月23日・24日

実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要

農作物の生産、SDGｓ、地方創生
脱炭素問題、農福連携の関わり

利用者数　等　　約20名

＜目的＞

利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

地方創生や農福連携の必要性を理解する。SDGｓとは何か、脱炭素問題に私たち一人一人が自ら取り組んでいることを認識すること。

利用者にとってのメリット

NHK　Eテレを通して全国に生産活動を発信できたこと。日本郵政を通して私たちの製造した商品が販売できるようになった事。

＜成果＞

実施した結果

私達の日々の生産活動を知ってもらえたことに喜びがあった。障がいがあってもこれだけの生産物が作れると評価していただけたことが知れた。一人ひとりが地方創生の原点にいることを学んだ（生きる価値、喜び）

得られた成果

日本郵政のエシカル便を通して全国から私たちが生産した和菓子の注文が来るようになったこと。

課題点

生産製造に対しての知識、意欲の向上

＜活動の様子＞

活動の様子の写真

成果物の写真

活動内容の追加コメント

日本郵政・東京ガスと一緒に地方創生にを学べたことが嬉しく思います。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

ニッポン未来フォーラムVOL4に参加できたことが利用者にとってとても素晴らしいことだと思いました。
年々農業生産活動に対しての意欲が向上していることをうれしく思います。

今後の連携強化に向けた課題

一人でも多くの方に農業に興味を持ってもらい、農産物の生産・加工・販売全てにおいて一緒にできたらありがたいです。

連携先企業（担当者）	株式会社どろんこファーム　田上様

利用者からの意見・評価

テレビに出られて嬉しかったです。　とても評価していただいて嬉しかった。　カメラを向けられると緊張した。
これからもっと良いものを生産したいと思いました。　自分たちが作ったものが全国から注文が来ることが凄いと思った。

様式１

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	風の森
住　所	熊本県合志市御代志１６００番１３
電話番号	096-242-7777

事業所番号	4312900410
管理者名	前田　公朗
対象年度	令和６年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所　　俵山交流館　萌の里

実施日程　　令和６年11月9日・10日

実施した生産活動・施設外就労の概要

農福連携で生産した作物を利用し、施設外就労先（プレゼンター株式会社）にて製造した和菓子を、東海大学文理融合学部経営学科の学生と共に販売

利用者数　等　　利用者５名

＜目的＞

地域連携活動のねらい

地域の農業・福祉・学生の三者で初めての取り組み

地域にとってのメリット

福祉に優しい街づくりや人材の解消に繋がる

対象者にとってのメリット

農福学の連携により地域の活性化と立場の違う三者が融合し達成できたこと。

＜成果＞

実施した結果

予定よりも早く完売　利用者と学生の喜びに繋がった

得られた成果

企画から販売まで障がい者と学生が協力し一つの目標に向かって取り組み、成功を分かち合えたこと

課題点

もっと売れたかもしれないので販売予定数を検討する必要がある

＜活動の様子＞

活動の様子の写真

成果物の写真

製造工程の写真

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

文理融合学部経営学科　濱田健司　教授

熊本県内で障がい者が生産・加工した農作物を学生が仕入、値付け・販売・募金活動を行い、被災地に寄付する取り組みを行えたことがとても素晴らしいことだと思います。この地域連携活動を通して今後も一般の方や学生に農福連携の理解を深めてもらう企画を考えたいと思います。

今後の連携強化に向けた課題

より多くの企業や地域の方との関係を深め地域連携活動を広めていく。

活動実績をSNS等で発信していく。

連携先企業名	東海大学文理融合学部経営学科　プレゼンター株式会社 熊本県農福連携協議会　株式会社どろんこファーム	担当者名	濱田健司　教授

様式２－２

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和６年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	53,116	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	13,066	人	利用者の１日の平均労働時間数	4.1	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（　　月～　　月）

前々々年度（令和４年度）

生産活動収入から経費を除いた額	43,025,692	円	利用者に支払った賃金総額	42,910,753	円	収支	114,939	円

前々年度（令和５年度）

生産活動収入から経費を除いた額	46,411,150	円	利用者に支払った賃金総額	46,230,886	円	収支	180,264	円

前年度　（令和６年度）

生産活動収入から経費を除いた額	50,110,429	円	利用者に支払った賃金総額	49,446,354	円	収支	664,075	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和６年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている　☐

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている　☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている　☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている　☑

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている　☑

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている　☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている　☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている　☑

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（令和６年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している　☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。　☑
※研修名　生産活動拡大の一手
研修講師　中小企業診断士　西江力　先生
実施日・受講者数　4 月　18 日　12 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している　☑
※研修、学会等名　くまもと福祉サービス協議会研修会
実施日　7 月　22 日
※学会誌等名
掲載日　月　日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている　☑
※先進的事業者名　就労支援施設A型ハピネス
実施日/ 参加者数　2 月　19 日　2 人
※他の事業所名
実施日/ 参加者数　月　日　人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。　☑
※商談会等名　共創ビジネスマッチング
主催者名　くまもと福祉サービス協議会
日時　6 月　20 日
内容　企業の社長と商談し生産活動拡大を協議

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している　☑
◎当該人事評価制度を周知している　☑
人事評価制度の制定日　2 年　4 月　1 日
人事評価制度の対象職員数　13 名
うち昇給・昇格を行った者　13 名
当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している　☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している　☐
※配置期間　月　日～　月　日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている　☐
※評価を受けた日　月　日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている　☐
※認証を受けた日　月　日
規格等の内容

（Ⅵ）　経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。　☐
※受理日　年　月　日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

様式２－１

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	風の森	事業所番号	4312900410
住　所	熊本県合志市御代志１６００番１３	管理者名	前田　公朗
電話番号	096-242-7777	対象年度	令和６年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		

①90点　②80点　③65点　④55　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60 点
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		

①60点　②50点　③40点　④20点　⑤－10点　⑥－20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	8	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注1）5以上:15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が１人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注2）5以上:15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合:10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合:-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計

150 点　／２００点